

12 番 吉岡 鳴人 議 員

1 ふるさと納税について

- (1) 財政運営の確立を図るため、財政健全化に貢献する重要施策としてふるさと納税制度がある。昨年、制度改正され自治体が提供する返礼品の基準が厳格化されたことに伴い、これまで以上に自治体間競争も激化している。

魅力的な返礼品の訴求やこれまでの宣伝広告等による投資対効果をどのように分析・評価しているか。

また、積極的な自主財源の確保に向け、循環の起点である協力地元事業者の創出やプロモーション活動、重要業績評価目標について本市の考えを示されたい。

2 福祉政策について

- (1) 不妊治療に対する助成制度について、令和4年4月から、不妊治療の保険適用が拡大され、治療費の負担が軽減されてきたが、自己負担額が依然として高額であるため、経済的な負担が大きい状況でもある。また、治療を受ける環境が整っておらず、心理的負担もあるとともに、社会的な理解醸成も必要と考える。

そこで、更なる制度の改善や環境の充実が求められているが、どのように捉えているか。

3 教育行政について

- (1) 不登校児童・生徒について、早期発見・早期支援に取り組み、その解消に向けた対策を講じている一方で、その対象者は年々増加傾向にある。

そこで、不登校児童・生徒が安心して学び、成長できる環境を整えるとともに不登校の子どもを持つ保護者の支援を図るべく、教育相談体制を強化すべきと考えるがどうか。